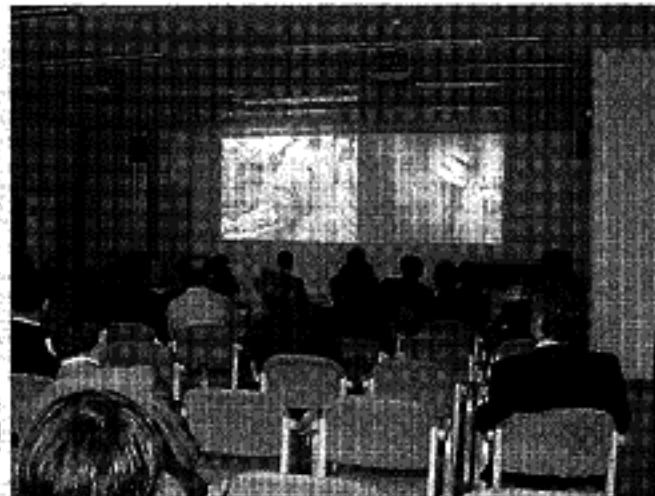


第3章 那些物理學



名医の手術をTV公開

外科医師ら70人技術学ぶ

豊橋ハート
センター

豊橋市大山町の豊橋ハートセンター（鈴木孝彦院長）で十三日、東海四県下の外科医師ら七十人が集まり、高度な心臓バイパス手術で実績を誇る名医らのテクニックを公開する「ライブモンストレーション」が行われた。

第一編

公開した。午前の部は、橋上哲哉、島根大教授がバイパス手術を、浅井徹・滋賀大教授、上田裕一・名古屋大教授が司会を務めた。午後の部は、浅井徹教授がメスを振り、島本光臣・静岡市立静岡病院教授、伊藤敬明・名

「オペの際の姿勢は」「手と肘（ひじ）は固定してあるか」を細かい点から、器具や薬剤、注意事項など幅広く質問。術者はていねいに答え、練習でクリニックやポイントなどを解説。皆、真剣な表情で画面を見つめメモを取つたりしていた。

治療の第一人者、錦木陸長らが国内やローマ、アメリカなどの病院とラブアモを実施。大勢の医師たちの研修の場となる大きな役割を果たしていく。これまでには内科的なバイパス手術のライブにも力を注ぐ。こちらのリーダーは、やはり国内第一人者の大川育秀・同センター副院長。

古屋第一赤十字病院教授
が司会を行つた。

手術現場の模様は院内ホールにセットされた二つのスクリーンにオンラインで放映され、参加者らは現場と同じ状況で見学。しかも会場から術者に質問なし、術者はそれに答えるながらオペを進めた。一民のオペは、これまで主流の人工心肺（ポンプ）を使用せず、心臓を止めないで行うオフボンブ式。この方法は思

オペ現場映像を見ながら術者と会話する参加者が
一斉機ハートセントで

今回は大川副院長が中心となって企画。同氏と共に実績を持つ名医二人が、実際のオペをテレビ

者の負担が少なくリスクも低い、半面、術者の高度な技術が必要とされる。